

2019年度
ロシア留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：9月9日(月)～12月30日(月)

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21018033

小飯塚百佳

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	当初の目的及び目標への到達度に対する自己評価	8
	今回の留学によって得られたこと	9
6	反省・課題	9
	謝辞	9

付録

体験日誌	10
------	----

1. 留学先及び留学期間

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：令和元年9月9日～12月30日

2. 留学先概要

(1) 大学について

ウラジオストク国立経済サービス大学は、1967年に開学した。8つの学科があり、学生数は1万5000人以上である。学士過程は4年であるが、法科大学院、修士課程、博士課程に進学することも可能である。大学専用の学生寮は約1200名収容でき、ロシア人だけでなく、留学生も住んでいる。警備が徹底されており、安心して生活をするができる。

(2) 大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済サービス大学は、ウラジオストクにおける最高基準の教育機関の一つである。ロシア全体の大学のうち、サービス業の専門家を養成する大学では全国1位の格付けをされている。留学生が多いため彼らのためのプログラムがある。語学のレベルでクラス分けされているため、一人一人のレベルにあった授業を受けることができる。授業では、発言する機会が多く設けられ、積極性を身につけることができる。

3. 留学目的

留学の目的は三つある。一つ目は、語学の力を向上させることだ。日本のロシア語の授業では書くこと、読むことが多い。そのため、聞く力と話す力を向上させる必要があると感じた。実際に授業や日常生活を通じて、ロシア語に触れる機会をたくさん作ることで、ロシア語のすべての力を向上させることが可能であると感じる。また、教科書に書いてある文章だけでなく、日常会話で使うことができる基本的なロシア語を学びたいと思い、留学をした。ロシア人と実際にコミュニケーションを取ることで、語彙力を高めることもできると感じた。また、ロシア語だけでなく英語の向上も目的としていた。ロシア語を学び始め、英語に触れる機会が減っていた。しかし、将来、最も使うのは、英語であると考えた。留学先には、さまざまな国の人がいるため、英語を使う機会も多い。留学は、語学を取得するための最も良い方法であると感じた。二つ目は、ロシアの文化に触れることである。バレエを見たり、ロシア料理を食べたりすることは実際に行かないと体験できないこ

とである。自ら体験することで、よりロシアについての知識を深めたいと感じた。三つ目は、たくさん外国人の友達をつくることである。日本にいて、外国人と関わる機会は、ほとんどない。しかし、留学では、さまざまな場所で、外国人と交流することが可能である。外国人の友達と交流することで、互いの国の文化も学ぶことが可能であると感じた。ニュースを見るだけではなく、実際に話してみないと理解しあえないことも、多いと感じる。そのため、留学で自分の視野を広げたいと感じた。

4. 留学内容

4 - 1 留学のスケジュール

9月9日	到着
9月10日	SIMカード購入
9月11日	健康診断
9月12日	レベル分けテスト
9月16日	授業開始
9月25日	экскурсия (留学生全員参加)
9月29日	虎の日
10月12日	サーカス
10月24日	プレゼンテーション(新潟について)
10月30日	ハロウィンパーティー (スピーキングクラブ)
11月2日	水族館
11月4日	灯台
11月7日	ボルシチ作り
12月13日	歴史テスト(プレゼンテーション)
12月18日	地理テスト
12月23日	文法テスト
12月24日	聞き取り、会話、美術テスト
12月25日	読解テスト
12月26日	音楽テスト お茶会
12月28日	バレエ鑑賞
12月30日	帰国

4 - 2 研修の詳細

- ・健康診断

レントゲン、診察のみ。

- ・レベル分けテスト

コンピュータを使った選択問題、筆記（自己紹介）。

- ・экскурсия

海に行き、ロシア人の学生とゲームをしたり、ブリヌイを食べたりした。
留学生、ロシア人と交流することができる機会。

- ・虎の日

虎の保護活動を広めるイベント。
パレードに参加することができる。

- ・サーカス

日本のサーカスでは見ることのない動物がたくさん登場した。
言葉が分からなくても楽しむことができる。



- ・プレゼンテーション(新潟について)

日本語を学んでいるロシア人に向けて、新潟についてプレゼンテーションをした。
本番前はロシア人の学生や先生と練習する機会があった。
プレゼンテーションの後は、学生と折り紙を一緒に作り、その後ご飯を食べに行った。

・ハロウィンパーティー

英語スピーキングクラブで行われた。

ジェスチャーゲームをしたり、(ハロウィンの) アニメを見たりした。

アメリカからの留学生が、英語で本場のハロウィンについて詳しく教えてくれた。

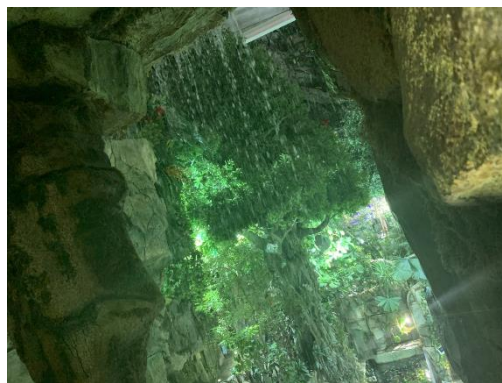


・水族館

オケアナリウムという名前の水族館。

水族館だが、博物館のような場所もあり、長時間楽しむことができる。

イルカショーも見ることができた。



・灯台

干潮時のみ、灯台に近づくことができる。



・ボルシチ作り

クラスメイトの韓国人、ロシア人の先生と寮のキッチンでボルシチを作った。

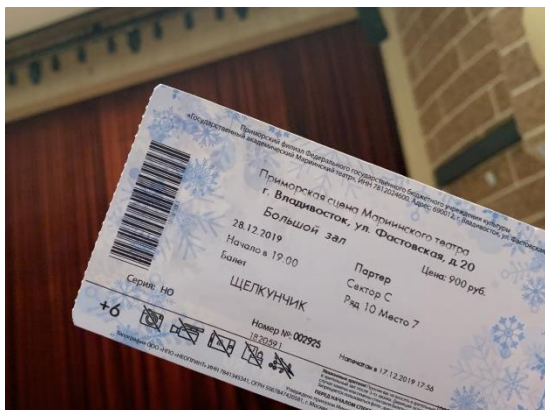


・お茶会

ロシアのクリスマスについて学びながら、
ロシアの紅茶を飲んだり、お菓子を食べたりした。

・バレエ鑑賞

マリインスキー劇場でくるみ割り人形を鑑賞した。



5. 当初の目的及び目標への到達度に対する自己評価

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

1) 語学の向上

留学中、積極的にコミュニケーションを取ることを心掛けていた。そのため、ロシア語、英語の力を向上することができた。ロシア語は、リスニングの力が最も身についた。また、日本で理解することができなかった文法も、繰り返し練習することで、理解できるようになった。日常生活で使うことによって、定着させることができた。英語は、話す力を最も向上させることができた。日本では、文法を中心に学んでいたが、実際に使う機会がなかったため、留学はとても良い機会になった。しかし、まだ自分のレベルに満足できていない。これからも、ロシア語、英語の勉強を継続し、より語学力を向上させたい。

2) ロシア文化に触れる

授業でも、さまざまな文化を学ぶことができたが、実際にマリインスキー劇場を訪れたり、ロシア料理を食べたりロシア文化を体感することができた。

3) 外国人との交流

寮、大学、クラブを通じて、たくさんの外国人と交流をすることができた。留学中は、英語でコミュニケーションを取ることが多かった。もう少しロシア語で会話をするべきであったと反省をしている。しかし、彼らとは今も連絡を取り合っているため、徐々にロシア語でコミュニケーションを取れるよう努力したい。

今回の留学によって得られたこと

今回の留学で自ら積極的に行動することの大切さを学ぶことができた。今後の生活にも活かしていきたい。

6. 反省・課題

留学中、何となく話してみることが多かった。自ら話すことはできたが、今まで学んできた文法等を気にすることができなかった。そのため、より文法などの基本的なことを定着させたい。また、まだまだ語彙が足りないので、単語の勉強をたくさんしていきたい。

謝辞

我々の留学を後押しし、協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。奨学金など、さまざまな面で支援してくださった新潟国際情報大学の皆様、我々を快く受け入れてくださったウラジオストク国立経済サービス大学の先生方、丁寧にロシア語を教えてくださいました神長先生、プラーソル先生、皆様のおかげで、充実した留学生活を送ることができました。心から、感謝いたします。

付録

体験日誌

◎授業

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:30~10:00	文法	聞き取り	文法	会話	
10:10~11:40		会話	読解	聞き取り	歴史
11:50~13:20	読解				
13:30~15:00	歴史	美術	地理	音楽	文法

・文法

ロシア語の文法を学ぶ授業。格変化を重点的に学習。

授業では先生から文法を教わり、その後すぐに問題を解く。

課題が多いが、繰り返し練習することで、ロシア語の文法を定着させることができる。

・読解

長文を読み解く授業。様々な題材を読むため、語彙力を高めることができる。

また、授業では音読をたくさんするため、ロシア語の発音を練習することができる。

課題は、要約、暗記が多かった。

・歴史

ロシアの歴史を学ぶ授業。普段使わない単語が多く、理解するのが難しい。

そのため、予習が必須である。

日本語で一度、ロシアの歴史を学習しておくことが望ましい。

・聞き取り

リスニングの授業。ディクテーションをたくさん行った。

課題は少ないが、単語の小テストが多く、復習が必須である。

・会話

ダイアログ(対話)を作ったり、読んだりする授業。

普段使うことができる会話表現を学ぶことができる。

・美術

ロシアに関する絵を描いたり、ロシアの民芸品を作ったりする授業。
ロシアの絵画や画家の名前を学ぶ授業もあった。

・地理

ウラジオストクの地形や気候、動物について学ぶ授業。
長文を読まなくてはならないため、予習が必須である。

・音楽

ロシアの音楽や楽器を学ぶ授業。
さまざまな音楽を知ることができる。

◎放課後

レミというスーパーで買い物をし、余裕がある日のみ自炊をした。
毎週水曜日は、ロシア語スピーキングクラブ、英語スピーキングに参加した。

◎休日

カフェで勉強をしたり、外国人の友達と出かけたりすることが多かった。

